

平成 18 年 12 月 20 日

京都府立大学農学部

附属農場報告

初めての餅つきも
徐々にコツを掴ん
で元気よく



だし巻きの巻き方を学生にみせる
出口さん

本年の収穫に感謝し感謝し、来年の豊作を祈って

12月20日(水) 年末最後の実習として種まき・田植えから収穫・調整(乾燥、脱穀など) 収穫後の荒起こしまでの水稻栽培に関する一連の農作業の締めくくりとして餅つきを実施しました。今年の収穫と一年間事故もなく実習を終えることのできたことに感謝し、来年の豊作を祈念するとともに、日本文化の基底に流れる東アジア一帯の照葉樹林文化を再確認する目的も込めています。取り立て野菜の豚汁とバス運転手の出口さんの指導の元に皆で作った農場産卵のだし巻きも加えて農場における収穫のありがたさを実感する一日となりました。